

市勢振興の基本的な考え方

議員 新市の均衡ある発展を築くための方策について伺いたい。

企画部長 本市では、合併を重ねていく過程において、各地域の特性を生かしたまちづくりを進めていくことと合わせ、全的に均衡ある発展と偏りのないサービスの提供を行うことを念頭に、市政運営を進めている。

また、市町村建設計画においても、合併町の総合計画を継承した上で、新市の新しいまちづくりのための基本方針、基本方針を実現するための施策等を策定し体系的な道路整備、上下水道などの都市基盤の整備により、計画的かつ効率的なまちづくりを進めることにしている。

平和会館の再利用

議員 平和会館の再利用計画と能楽堂の建設について伺いたい。

市長 平和会館の活用方策に当たっては、関係課による検討会議を設け、能楽堂としての活用を含めながら検討を重ねている。現在の検討状況では、歴史文化博物館の開館に伴い閉館となる現在の市立博物館の地下1階から地上2階部分については、本市の貴重な歴史資料などの保存等の場として考えている。

また、3階ホール部分については、平和学習を初め講演会や軽スポーツ等の利用が多いことから多目的体育館としての活用を考えている。

では、市民のニーズを把握しながら効果的、効率的な運営を図りたい。

また、市の現存する施設についても能楽堂としての活用を初めいろいろの方策を考えていきたい。



長崎市平和会館

自民みらい会議

地域医療と公的病院

議員 市立病院の抱える問題とその対策について伺いたい。

病院局長 市立病院の抱える問題とその対策として、まず1点目に市町村合併に伴う市立病院のあり方についてがあるが、近年は患者の状況に応じた形で、地域内の各医療機関がそれぞれの役割等を担う中で、連携を密にし、適切に対応するための仕組みづくりが進められている。ゆえに、地域全体の医療従事者を育成しながら、質を向上させていく上で中心的な役割を担う市立病院は今後ますます重要になると考えている。

2点目に、市民病院の建物の経年劣化の問題があるが、これについては管理経費増等の問題があるものの、新市立病院建設までの間は、適切な維持管

理に努めていきたいと考えている。

3点目に、市民病院の医師確保については今後、一段と長崎大学病院の医師事情が厳しくなるため、大学病院からの医師派遣に頼るのではなく、みずからの力で臨床医を育成したい。



長崎市立市民病院

効率的な行政体制

議員 次期行革大綱策定の基本的な考え方と現在の取り組み状況について伺いたい。

市長 次期行革大綱の策定に当たっては、引き続き事務事業の効率化に努めながら、市民と行政の協働や行政サービスの選択と集中、効率的な行政体制の整備などを特に基本方針に据え、一層の行政改革の推進に取り組んでいきたいと考えている。策定に向けた取り組みとしては、庁内の行政改革推進本部の推進部会を通じ、住民サービスの向上や経費削減などの観点から、全庁的に既存事務事業の見直しや新たに組み組むべき新規事務事業の提案を受け、次期行革大綱の素案の作成に取り組んでいる。

今後、限られた財源を有効的に活用しながら、絶え間ない行政改革に取

り組んでいきたいと考えている。

明政クラブ

アスベスト問題

議員 アスベスト問題に係る本市の対応について伺いたい。

市長 本市においては、アスベスト含有材が使用された可能性があるとされる昭和55年以前に建設した市有の590施設を対象に緊急調査を実施した。

その結果、アスベストを使用した施設として10施設が特定され、このうち6施設は、解体予定等により閉鎖中の施設や既に封じ込め処理が済んだ施設であり、残りの4施設のうち3施設については現在、状態は安定を保っているが、機械室等で露出しているため、本議会に予算の審議をお願いするなど所用の予算措置を講じた上で、早期に除去等の適切な対応を図っていききたい。

また、状態が安定を保ち、天井で囲い込みがされている市民会館についてもできる限り早期に有効な処置を施したいと考えている。



アスベストが使用されている施設の一部